

病虫害予察情報の高精度・迅速な情報発信システム

【背景・目的・成果】

近年、気象変動や農産物・種苗のグローバル化により局所的に病虫害が発生する傾向が認められ、きめ細やかな予察情報が求められています。そこで、病虫害防除所は、農業改良普及センター、農業共済組合等から提供された調査結果と独自のデータに基づき、精度の高い予察情報を作成し、関係機関に迅速に提供しています。これにより、病虫害発生に応じた防除指導によって、農産物の安定生産と環境創造型農業の推進・指導に役立っています。



【技術の活用】

- ・農業改良普及センター、農業共済連合会、病虫害防除所が連携・協力することで、各地域毎のきめ細やかな病虫害発生状況の把握が可能となります。
- ・調査法研修を実施し、調査基準の統一化、調査精度の向上を図っています。
- ・イネ縞葉枯病ウイルスのヒメトビウンカ保毒検定、いもち病耐性菌検定等の重要な病虫害の防除指導も実施しています。
- ・予察情報は病虫害防除所のホームページでご覧になれます。
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>)